

ベストプラクティス

# リスク管理院内認定コースの導入

徳島大学病院

# 徳島大学病院概要(平成21年度)

病床数: **696**床

診療科: **30** (歯科を含む)

外来1日平均患者数: 約**1,687**人

病床稼働率: **77.8%** (厚生労働省方式)

平均在院日数: **17.9**日 (厚生労働省方式)

手術件数: **6,736**件

職員数: **1,397**名 (平成22年4月1日現在)

医師 **345**名

看護職員 **641**名



# 院内の安全管理組織図

病院長

リスクマネジメント委員会

感染対策委員会

安全管理対策室室長(兼任)

リスクマネジメント部門

部門長(兼任)

GRM 2名

専任事務員 1名

感染対策部門

部門長(兼任)

ICN 2名

専任事務員 1名

リスクマネジャー ・ ICマネジャー

(診療科・診療支援部・薬剤部・看護部・事務部)

安全管理対策室(平成15年設置)

# 徳島大学病院のリスクマネージャー

- 診療科 各外来医長 各病棟医長
- 中央診療施設等 各副部長
- 診療支援部 副部長 各部門長
- 薬剤部 副部長 各室長
- 事務部 医事課長
- 栄養管理室 室長
- 看護部 看護師長または副看護師長  
(診療科外来、各病棟、中央診療施設、各種センターなど  
各看護単位の責任者)

合計 126名 … 毎年10～15名が交代

# リスクマネージャー就任時：「リスクマネージャー養成研修」冊子

本院での安全管理体制や業務内容を自己学習

RMが役割を遂行  
する上で知識として  
必要な項目を  
提示：業務範囲の  
把握には有効

自己学習の  
限界がある

## 医療事故防止のための相互チェック

目的  
大学間相互チェックを実施することにより、  
相互に学び合い、共有し合うことにより、  
自らの大学における点検に加入して医療事故の  
防止に寄与する。

方法  
1. 全国規模での組み合わせにより実施する。  
2. 組み合わせは、各大学推薦1対1で実施する。  
3. 所属長から推薦の申し込みを、医療安全管理に  
関わる多額の職員が他職域による評選を依頼  
を受けると共に、その改善状況について報告書  
が課される。

## 病棟間相互チェック

目的  
病棟間相互チェックを通じ、自部署のシステム  
の不具合に気づき、他部署の工夫している点  
相互に学び合い、共有し合うことにより、  
医療事故の防止に寄与する。

方法  
1. 2つの部署もお互いが訪問しあい実施する。  
2. 安全管理対策室から提示されたチェックリスト  
を用い行なう。  
3. 年3回実施（事故防止キャンペーン期間中）  
第1回・リスクマネージャー  
第2回・リスクマネージャー  
第3回・スタッフ

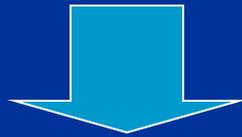
平成17年度

リスクマネージャー養成研修

平成17年4月28日  
安全管理対策室

# 教育体制の問題

- 医療安全に関する研修体制が体系だっていない
- 院外研修は、時間的・経費的制約から実施困難
- 院内での研修体制の整備が必要



- 平成20年度 院内認定コース
  - 「リスク管理」 RM対象
  - 「感染管理」 ICM対象
- 看護師を対象としたコースと合わせて計6種の院内認定コースを設定

# 平成20年度 徳島大学病院 院内認定コース

コース名	総時間	定員	受講人数	開講月
リスク管理院内認定コース	1360分 /22.7時間	10名	7名	10月
感染管理院内認定コース	1440分 /24時間	10名	5名	9月
がん化学療法看護 院内認定看護師コース	2910分 /48.5時間	5名	6名	9月
がん性疼痛看護 院内認定看護師コース	2890分 /48.2時間	5名	5名	9月
褥瘡リンクナース育成コース	540分 /9時間	10名	12名	8月
救急看護・集中ケア(初級) 認定コース	840分 /14時間	10名	11名	9月

# 「リスク管理」院内認定コース

## ■ 研修対象者

- リスクマネジャー又は部署で安全管理を中心的に担う者とする。

## ■ 研修の目的

- 1) 医療安全に関する基本的な知識、技術を身に付ける。
- 2) 担当部署内の安心・安全な医療の確保における問題点を発見でき、対処する能力を身に付け、再発予防ができる。
- 3) 医療の場におけるそれぞれの倫理観を高める。

# 「リスク管理」 院内認定コース スケジュール

3月	スケジュール決定
4月	研修概要作成、シラバス作成、予定表作成
5月	カリキュラムの内容決定、研修シナリオ作成、予定表作成
6月	
7月	募集要項作成
8月	受講生募集

9月	受講生決定
10月	開講式
11月	
12月	
1月	
2月	最終評価、修了式

# リスク管理院内認定コース 受講者の内訳

	20年度	21年度	22年度
医師	0	1	2
歯科医師	1	1	0
看護師	5	3	5
看護部長	1	0	0
看護師長	4	2	4
副看護師長・看護師	0	1	1
臨床検査技師	1	1	1
計	7	6	8

# 院内認定コース科目

## ■ 共通科目

- 院内認定6コース受講者全員を対象
- 全体の力量アップを目指す
- 認定において、身につけておくことが必要な共通知識

## ■ 専門科目

- コース別に設定
- 「リスク管理」院内認定コースでは、

「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」（厚生労働省 医療安全対策検討会議 医療安全管理者の質の向上に関する検討作業部会 平成19年3月）  
を参考にカリキュラム作成

# 共通科目日程（平成21年度より）

研修名	日時	研修方法	講師
徳島大学病院における 院内認定看護師の意義	平成21年11月11日(水) 15:00～16:00	講義 60分	看護部長
看護倫理	平成21年11月13日(金) 17:00～18:30	講義 60分 演習 30分	外部講師
診療における チームアプローチ	平成21年11月20日(金) 17:00～18:00	講義 60分	保健学科ストレス緩和 ケア看護学准教授
コミュニケーション	平成21年11月27日(金) 17:00～18:00	講義、演習 60分	外部講師
看護における危機理論 とストレスコーピング	平成21年12月4日(金) 17:00～19:00	講義 60分 演習 60分	保健学科講師
カウンセリング	平成21年12月11日(金) 17:00～19:00	講義 60分 演習 60分	心理士

# 専門科目日程

# (平成21年度)

研修名	日時	研修方法	講師
医療安全の基本的知識	平成21年11月26日(木) 15:30~17:30	講義 120分	安全管理対策室室長
安全管理体制の構築	平成21年12月16日(水) 16:00~17:00	講義 60分	GRM
医療安全についての 研修の企画・運営	平成21年12月21日(月) 15:00~17:00	講義 60分 GW 60分	GRM
医療安全に資する情報 収集と分析、対策立案、 フィードバック、評価	平成22年1月6日(水) 16:00~17:00	講義 60分	GRM
	平成22年1月20日(水) 15:00~17:00	講義60分 GW 60分	安全管理対策室 部門長 GRM
	平成21年12月~2月 16:30~17:30 予定	演習(各委員会参加) 720分	
事故発生時の対応	平成22年6月14日(月) 16:00~18:00	講義 60分 ロールプレイ 60分	安全管理対策室 室長 部門長 GRM
安全文化の醸成	平成22年5月25日(火) 17:40~18:40	講義 60分	病院長

# 教科シラバス(専門科目)

研修項目	時間数	担当講師
医療安全の基本的知識	講義 120分	安全管理対策室室長
講義日程	平成21年11月26日(木) 15:30~17:30	
学習のねらい	安全管理を実施する上で必要な基本的知識を習得する。	
講義概要	1. 我が国の医療安全施策の動向 2. 安全管理に関する法令、制度、指針 3. 医療事故発生メカニズム 4. ヒューマンエラー ＜実施方法＞ ・事前にテキスト、e-ラーニング等により自己学習する。 ・講義を受講し、テストを受ける。	
事前課題	テキスト(事前配布)及びe-ラーニング、 「専任リスクマネジャーのためのテキスト-就任前研修-」 (第3版)で自己学習する。	
講義時使用器材・教材など	パワーポイント資料、配布資料	
評価方法	試験で全問正解となる。	

# 学習方略と評価

- 学習形態（）内は平成21年度
  - 講義 (480分)
  - グループワーク (120分)
  - ロールプレイ (60分)
  - 演習 (720分)
- 資源
  - 人的資源: 室長、部門長、GRM、事務員
  - 物的資源: スライド、テキスト等配付資料を中心
- 評価手段
  - 出席数
  - 試験、レポート、GW発表

## 室長の講義



## 研修計画 グループワーク



## 事例分析 グループワーク

# 認定の基準

- 講義・グループワーク
  - 全体の3分の2以上出席していること
  - 出席できなかったときはビデオ供覧で学習
- 演習（各委員会参加）
  - 全体の3分の2（8回）以上出席していること
- 試験
  - テキスト等を参照可
  - 6割以上の正解を原則とする
- レポート
  - 課題分をすべて提出すること

# 認定の判定

- リスクマネジメント委員会において、講義・演習の出席率やテスト・レポートの評価の結果をもとに合否判定を行う。



- 判定会議の結果を受けて、病院長より承認があればリスク管理院内認定とする。

# 院内認定証



# 成果

- 外部研修との比較
  - 時間対効果、費用対効果
- 受講生の意識向上
- 異職種受講生間のコミュニケーション推進
- 安全管理対策室業務への参加

# 問題点

- 研修時間に制約がある
  - 現状は勤務時間内にコース設定
- 目標到達のための方略や評価方法が未成熟である
- 認定基準は現状でよいか
- 認定後の役割が必ずしも明確でない
  - 部署でのRM業務を継続してもらっている
  - 病院内での安全管理者就任が前提ではない
  - 認定後「次期GRMに」と言われると...？
- 更新制度の必要性について
  - フォローアップ体制：本年作成予定

# 展望

- 認定コース対象の拡大
  - リスクマネージャーだけでなく、中間的なチームリーダーも対象に考慮する
- 学生を含めた安全管理意識の向上
  - 教員・指導者へのコース参加呼びかけ



## かかし夢街道 (徳島県神山町)



ご清聴ありがとうございました